

2018 年 7 月 17 日

各 位

持田製薬株式会社
住友制薬（蘇州）有限公司

中国におけるエパデールの臨床試験開始についてのお知らせ

持田製薬株式会社（本社：東京都新宿区、社長：持田 直幸、以下「持田製薬」）と、大日本住友製薬株式会社の中国子会社である住友制薬（蘇州）有限公司（本社：江蘇省蘇州市、総経理：野口 直記、以下「住友制薬（蘇州）」）は、持田製薬が日本で販売している高純度 EPA 製剤「エパデール S」（以下「エパデール」）について、中国での臨床試験を開始することをお知らせします。

持田製薬は、中国におけるエパデールの開発を、住友制薬（蘇州）と既に締結している開発に関連する契約に基づき進めています。

両社は、2018 年 4 月に、中国当局の国家薬品监督管理局から、臨床試験許認可（CTA）を取得したことを受け、臨床試験を開始します。

持田製薬は EPA 製剤のリーディングカンパニーとして、中国での医薬品開発において住友制薬（蘇州）と連携し、同国の患者さんにもエパデールを届け、健康に貢献したいと考えています。

住友制薬（蘇州）は、持田製薬と緊密に連携して臨床試験を進め、エパデールが同国の医療の一助となることを期待しています。

エパデールについて

エパデール（一般名：イコサペント酸エチル）は、持田製薬が世界で初めて医療用医薬品として開発した高純度 EPA 製剤で、日本では高脂血症と、閉塞性動脈硬化症に伴う潰瘍、疼痛及び冷感の改善を適応としています。EPA の精密な精製技術と大量生産能力を持つ日本水産株式会社より原体の供給を受け、1990 年の販売開始以来、多くの患者さんに服用いただき、有効性と安全性が実証されています。

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

持田製薬株式会社 経営企画部広報室（TEL. 03-3358-7211）